

今年度の派遣教員が到着

コロナの影響でおよそ 5 か月遅れの 8 月 30 日、3 名の先生がバンドンに着任しました。一度失効した渡航ビザの再取得のために、文科省や旅行代理店、在インドネシア日本国大使館、本校運営委員会のお力添えをいただきました。当日の夕方、ジャカルタの空港に到着した 3 名は日本であらかじめ受けてきた PCR 検査の陰性結果を提示し、その後、入国審査、荷物のピックアップまで JAL の方のアテンドを受け、スムーズに入国することができました。

あらかじめ決めておいた自宅で 14 日間の自主隔離の後、着任式を行いました。今年赴任した先生は、岐阜出身の音楽が専門のシニアの先生と大阪出身の国語が専門の先生、栃木出身の社会の先生です。コロナの影響で通常の登校授業はできませんが、今できることに全力で取り組んでいます。



やっとみんな揃いました

見込みで請求される電気料金

大雪が積もって電気メーターの所にたどり着けない時に電気料金を見込みで請求されることは北海道でもありましたが、何とこの雪など降るはずもない亜熱帯のバンドンでも測定する人の見込みで電気料金が請求されることがしばしばあります。年に数回、メーター通りに請求されるため、その時は普段と全く違う金額となります。最近はなぜか、毎月きちんと検針に来るようになってきました。

学校再開をめざして

大使館付属の強みを生かして、何とか学校での授業が再開できないかと、大使館や運営委員会の協力を得ながら、日本人学校のあるチダダップの警察署、バンドン市の保健局、市長局に足を運び、登校再開への理解を求めましたが、「日本人学校の良さや再開したい気持ちは理解できるが、市として 1 校だけの登校を認める訳にはいかないの、待ってほしい」との説明を受け、本校がバンドン市にある学校であることを再認識させられました。



市長局で感染症予防策を説明

我が家の動物たち

私の住んでいる住宅には広い庭があります。4 月から思うように外出ができなくなり、運動不足解消に庭を散歩するようになりました。すると、コロナ以前には気が付かなかったたくさんの動物たちがこの庭に生息したりやって来たりしていることに気が付きました。思いつくままに挙げていきますと、蟻(大・中・小)、蝶(モンシロチョウやモンキチョウだけでなく、アゲハチョウやタテハチョウ、シジミチョウの仲間など、多種)、トンボ、蚊(最近少なくなりました)、バッタの仲間、カタツムリ(大・小)、カエル(大)、トカゲ(黒っぽいものと緑のもの)、カマキリ、たくさんの鳥たち(ハトや雀の他にも綺麗な声でなく鳥も)。そして、家の中にもたくさん生息していて、今や私の友達となっているヤモリ君。きっとヤモリ君のお陰で蚊がほとんどいなくなったのだと思っています。



緑のトカゲ(全長 60 cm位)